

平成 30 年度 岸和田市国民健康保険運営協議会 会議録

日 時 平成 31 年 1 月 24 日 (木) 午後 2 時～午後 3 時 5 分
場 所 岸和田市職員会館 2 階大会議室
出席委員 根来長利、田中泰弘、雪本岩利、廣岡鈴子、米本俊信、田中秀紀、江龍直明、
木村晋三、金本均、炭谷文香、石田信博、坂西明子、井尻俊夫、田中伸子、
杉本充恵、根来勝、前西勇人、谷善弘 (順不同、敬称略)
欠席委員 高松正剛、牛田伸二 (順不同、敬称略)
事務局 寒川保健部長、佐野健康保険課長、武名参事、塩谷参事、赤田担当長、
北川担当長、高井担当長、山本担当長
傍聴者 1 名

概 要

1 開会

2 保健部長挨拶

3 事務局からの報告事項等

○新委員の自己紹介

○事務局職員紹介

4 会長及び会長職務代行者選出

選出につき事務局一任となり、事務局案 (会長 石田委員、会長職務代行者 井尻委員) が提案され、承認される。

石田会長挨拶

5 案件 (1) 平成 31 年度保険料率及び仮算定の廃止について

(2) 第 2 期データヘルス計画兼第 3 期特定健康診査等実施計画について

(3) あはき療養費受領委任制度の導入について

6 閉会

《会議発言要旨》

事務局

岸和田市国民健康保険運営協議会規則第4条第5項に従いまして、石田会長に議事進行をお願いいたします。

会長、よろしく申し上げます。

会長

先ず、本日の委員の出席状況について、事務局に報告を求めます。

事務局

委員定数20名中、ただ今の時点で出席委員17名でございます。

従いまして、岸和田市国民健康保険運営協議会規則第4条第4項に定める定足数を満たしておりますので、本日の会議は有効に成立でございます。

(木村委員、遅れて入室・着席)

会長

それでは案件に入ります。

案件(1)平成31年度保険料率及び仮算定の廃止について、事務局に説明を求めます。

事務局

平成31年度保険料率及び仮算定の廃止について、資料1～4に基づき説明。

会長

この件について、ご意見、ご質問等がありますか。

委員

保険料算定については、特段の意見はありません。

賦課限度額が引上げられる傾向となっております。世間一般の私共の収入は、ほぼ30年間、所得らしい所得は上がってないように思いますが、限度額だけがどんどん上げられているわけです。限度額は適正に引上げる必要はあると思っておりますが、いつまで、どこまで行くのかという懸念を持っています。

また、仮算定廃止に伴ってシステム改修を行うとのことですが、費用額は大体いくらぐらいか今わかっている範囲で教えてください。

事務局

2点ご質問いただきました。

先ず、賦課限度額についてでございますが、今のところ毎年改正がされて上がっている状況です。大阪府につきましては、現在の統一基準の中で国の限度額の1年後追いをしています。国が先行して限度額引上げの改正を行い、その翌年に大阪府が合わせに行くということになっています。我々が説明を受けているのは、府内の国保の保険給付費が対前年比で一人当たり1万5千円ほどの伸びで上昇しておりまして、それに伴って保険料も改定されていっているわけでございますが、国の改定がなければ一定の状況で収まると思うのですが、先ほど冒頭でも申し上げましたように国民健康保険の宿命といたしまして、低所得者の方や高齢者の方が多いわけですので、予測としましては、上がっていく方向にならざるを得ない状況かなと思っております。

事務局

システム改修の部分につきましては、システム業者との話し合いはこれからになりますので、現時点では判明しておりませんが、同じシステムを使っておる他市町村で本算定を一本化しているところもあります。実例もありますし、大きな改修にはならないと思っておりますが、費用面は現時点ではわかっていない状況です。

会長

はい、よろしいでしょうか。では、ほかにご意見、ご質問等がありますか。

委員

保険料率や仮算定の廃止の話ではないですが、料率が出てくるのがここだけなのでお伺いします。先ほど徴収率の話も少し出たと思いますが、不納欠損額についてです。不納欠損は、法で定められた手続きであるので、積極的に進めていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

事務局

不納欠損額につきましては、今仰っていただきましたように、執行停止やその他諸々の理由により欠損として落ちていくわけです。先ず、参考に金額的な事を申し上げます。ここ3ヶ年をみますと、不納欠損額は、平成27年度31,800万円、平成28年度18,500万円、平成29年度16,500万円となっております。額を押さえこんできました。関連して、先ほど収納率のお話もいただきましたが、分納額を増やしたり、完納世帯を増やしたりして収納率を上げて、適正な保険料収納を目指してやっております。収納率も参考にお話しますと、現年分保険料と滞納繰越分保険料の合計の収納率は、平成27年度71.41%、平成28年度76.31%、平成29年度77.09%と、保険料を賦課した調定額全体

は落ちてきておりますが、対して収納率は上がっていつている状況です。国保被保険者の経済的な状況が苦しいと言われる中ですが、保険料の適正な納付をしていただいて、なおかつ納められないという部分については、執行停止等の手順を踏んで不納欠損としております。その不納欠損の額が減っている状況ですので、適正な納付が維持されながら、不要なものは落としていくという手立が取られているという現状であります。以上です。

会 長

よろしいですか。ほかにご質問ございますか。

では、案件(2)第2期データヘルス計画兼第3期特定健康診査等実施計画について、説明をお願いします。

事務局

第2期データヘルス計画兼第3期特定健康診査等実施計画の冊子と概要版に基づき説明。

(質疑なし)

会 長

案件(3)あはき療養費受領委任制度の導入について、説明をお願いします。

事務局

あはき療養費受領委任制度の導入について、資料5に基づき説明。

(質疑なし)

(その他事項も特になし)

会 長

今までの案件について、ご質問等なければ、これで平成30年度岸和田市国民健康保険運営協議会を閉会します。本日は、どうもありがとうございました。

平成31年2月5日
岸和田市国民健康保険運営協議会
会 長 石田 信博

